

平成30年度

取り組みの実績・評価

鶴見区役所

地域保健福祉部会

所管する経営課題

経営課題1

住み慣れた地域で安心して
暮らせるまちづくり

経営課題1

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり



1-1 地域共生社会の実現

地域福祉力の向上

計画

- 住民の身近な相談窓口となり、必要に応じて関係機関との連携を図る。
- つなげ隊へのアドバイスやスキルの向上、情報の提供など、総合的な地域福祉推進に係るコーディネートをおこなう。
- 各地域で実施する地域福祉活動への支援
- 住民同士の助け合い活動の支援、並びに地域資源の発掘、育成を図る。

目標

地域福祉活動への支援として、ネットワーク委員会や百歳体操・サロン事業などの交流の場の充実と事業実施：100件/年以上

地域有償ボランティア活動にかかる派遣数：1,000件/年以上

実績・評価

・コミュニティソーシャルワーカー3名配置

→各地域の会議や事業に参加するなど、少しずつ区民の方との面識ができてきており、福祉の活動支援や迅速な相談対応につながるよう、より一層の交流を図っていく。

・地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を各地域1名、計12名配置

→地域の身近な相談窓口として、地域の方の困りごとの解決や、不安の解消役など活躍してもらっており、地域福祉の活動推進の大きな力となっている。

・SNSでの地域福祉活動の紹介 1回

コミュニティソーシャルワーカーやつなげ隊の活動紹介の広報 2回

有償ボランティア制度の定着

・広報紙での事業周知 3回

・講演会 1回

・「あいまち」講座 2回連続講座

→まだまだ「あいまち」や「つなげ隊」の認知度が低い。今までの周知に加え、地域住民の目を引くよう、広報デザインの工夫や配架場所の拡大を行う。



「あいまち」会員
による活動風景



「あいまち」会員
による活動風景



「あいまち」会員のみなさん



「つなげ隊」の活動風景

評価

地域福祉活動への支援として、ネットワーク委員会や百歳体操・サロン事業などの交流の場の充実と事業実施

目標

100
件/年以上

結果

113件

地域有償ボランティア活動にかかる派遣数

1,000
件/年以上

1,152件

元年度の 取組み

- ・【継続】住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業の推進
 - ・コミュニティソーシャルワーカー配置
 - ・地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を各地域配置
 - ・広報紙やSNSを活用した地域福祉活動の紹介
 - ・コミュニティソーシャルワーカーやつなげ隊の活動紹介
 - ・有償ボランティア制度の紹介

1-2 健康づくりへの支援

健康増進意識の向上



計画

- 地域のさまざまな取組みと連携し、区民の健康保持・増進を促すとともに、関係団体と協働し、運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりを進めるため、幅広い年齢層が参加できるイベントを開催する。
- 健康づくりに役立つ情報発信に取り組む。

目標

「健康まつり」、「食育フェスタ」の参加者：650人以上

実績・評価

- ・「第18回鶴見区みんなの健康まつり&第11回食育フェスタ」の開催
→各団体からなる実行委員会により開催。開催内容を検討し、幅広い年代の方が参加し、健康及び食育を体験・学ぶことにより、健康づくりに対してのきっかけづくりとなった。
実行委員会のメンバー(各医療関係団体や地域団体など)だけでなく、大阪市と提携しているすこやかパートナー及び各企業・学校などの協力により、幅広い層が関心を持てる内容となるよう工夫した。参加者は、開催に従事していただいた関係者も含め、大人850名、こども250名と、予想を上回った。
- ・「ウォーキング教室」の開催
→手軽に行える運動として、また、生活習慣病の要因となる肥満防止やメタボ解消として、鶴見緑地を会場とし、2日間実施。歩き方や靴の履き方などを学習した後に、鶴見緑地にて実践することにより効果的なウォーキングを学ぶことができた。
(参加人数 のべ99名)
- ・健康に関する講演会「こころの健康講座～うつ病を知ろう～対応・予防について」の開催
→誰にでもおこりうる「こころの病気」について、理解を深め、基礎知識や対応方法、予防法について学ぶことができた。(参加人数 59名)
- ・健康・食育に関する情報提供について
→熱中症・食中毒の予防や、がん検診及び各種健診の啓発を、広報紙、広報板、区ホームページなどを通じて情報提供し、食育に関するレシピも連載するなど、日常生活の中から健康につなげてもらえるよう工夫した。



鶴見緑地でレッツ・ウォーキング
10月31日・11月7日開催
参加者99人



うつ病を知ろう
10月30日開催
参加者59人



健康まつり・食育フェスタ
3月9日開催
参加者 1,100人



情報発信
広報紙・ホームページなど

評価

「健康まつり」、「食育フェスタ」の参加者

目標

650人以上

結果

1,100人

元年度の 取組み

- ・【継続】「食育フェスタ」と「健康展」を同時開催
- ・【継続】健康に関する講演会の開催
- ・【継続】食育に関する調理実習の土日開催
- ・【継続】ウォーキング教室の開催
- ・【継続】ウォーキングカレンダーの発行
- ・【継続】地域・関係機関等と協働で健康づくりを実践できる場の提供
- ・【継続】健康・食育に関する情報発信

【経営課題全体としての評価総括(自己評価)】

- 生活習慣病の原因である肥満者、メタボ該当者等に効果的である継続的な「運動」や「食生活の改善」への取組みについて情報発信を強化する必要がある。
- 安心して子育てできる環境づくりのために、引き続き、地域・関係機関との連携を推進する必要がある。
- 「まなびを応援するまちづくり」の推進のため、引き続き「まなびの場」の周知や区役所、学校、地域、保護者が連携した学校支援の促進が必要である。
- 平成30年度に発生した自然災害により、災害に対する市民の不安が増していることから、これまで進めてきた自助・公助の取組みはもとより、区独自で防災資機材等の確保に努めていく必要がある。